

令和6年3月8日（金曜日）

予算決算委員会総務分科会

第1委員会室

出席委員

三和 衛、妻鹿幸二、有馬剛朗、宮下和也、  
常盤真功、石堂大輔、竹中由佳、坂本 学、  
谷川真由美

【総務委員会（総務局）の審査】

開会

10時50分

総務局

10時50分

送付議案説明

- ・議案第1号 令和6年度姫路市一般会計予算
- ・議案第12号 令和5年度姫路市一般会計補正予算  
（第8回）

質疑

10時57分

（質問）

文書法制管理費中、総務管理経費約1,600万円について、行政不服審査会委員3人分の報酬が含まれているが、同委員会のこれまでの開催実績はどれぐらいなのか。

（答弁）

行政不服審査委員会の開催状況について、令和4年度は諮問が2件、会議が1回、令和5年度は諮問が2件、会議が1回であるが、3月にもう1回開催を予定している。開催費用は1回当たり3万円程度であり、令和6年度は委員報酬として36万8,000円の予算を見込んでいる。

（質問）

令和5年度の諮問2件については、どのような内容なのか。

（答弁）

不利益処分に対する不服申立てであり、指定取消しについての審査請求があったものである。処分に関することのため、詳細は答えられない。

（質問）

毎年、事務改善推進経費を計上しているが、どのようなことに使っているのか。

（答弁）

職員提案制度については、令和2年度からポイン

ト制を導入し、1課5ポイントを目標に全庁からカイゼン報告を提出してもらっている。庁内の審査委員が内容を審査して、参加賞から最優秀賞までの6段階に分けて賞を与えている。

（質問）

行財政改革推進経費として行財政改革市民会議委員14人分の報酬等約180万円が計上されているが、同会議では、どのような内容について話し合っているのか。

（答弁）

姫路市行財政改革プラン2024についての結果を報告し、それに対する意見をもらっている。

同プランは令和6年度までの計画期間としており、新プラン策定に当たっては、同会議で委員の意見も聞きながら検討したいと考えている。そのため、令和6年度は前年度よりも会議回数を1回増やす予定であり、予算が若干上がっている。

（質問）

行財政改革市民会議において、委員から積極的な改革案が出されたのか。

（答弁）

令和5年度の行財政改革プラン2024の報告については、達成率が約半分ということで、もっと頑張るようにといった意見をもらっている。

（質問）

一般管理費が前年度予算額に比べて1割弱の減となっている。一般管理費中の郵送搬送経費が増えるはずなのに、なぜ減っているのか。

（答弁）

主に退職手当の減によるものである。

郵送搬送経費については、令和6年10月以降に郵便料金が値上げされる見通しであることから、前年度よりも増額となっている。

（質問）

人事管理費について、なぜ令和5年度から増加しているのか。

（答弁）

新たに会計年度任用職員に対して勤勉手当を支給するほか、防犯カメラ・通話録音装置を設置する費用等の増によるものである。

（質問）

職員研修をしっかりと行ってもらいたいと思うのに、研修費が 1 割強の減となっている。減少の要因を説明してもらいたい。

(答弁)

令和 5 年度までDX関連の予算が含まれていたが、令和 6 年度からデジタル戦略室に予算措置されるためである。これによって研修の質が低下することはないと考えている。

(質問)

新規事業の庁舎内保育施設の整備については、とりわけ女性が働きやすい職場環境につながると思うが、庁舎内のどこに整備しようと考えているのか。

(答弁)

北別館の 1 階東側を改修して、保育施設を設けたいと考えている。

(質問)

どのような運営形態になるのか。

(答弁)

認可の地域型保育事業の 1 つである事業所内保育事業が望ましいが、無理であれば、認可外保育施設となっても設けたいと考えている。

(質問)

不当要求行為対策のため、ネットワーク型の防犯カメラを 51 台、通話録音装置を 450 台設置することであるが、防犯カメラの映像については、どこかの部署で一元管理して、不当要求行為があれば即座に職員を守る行動を取るためのものなのか。それとも不当要求行為の証拠として必要なのか。

(答弁)

出先機関も含めた全ての映像を録画できるハードディスクを置くとともに、職員倫理課ではライブモニタリングできるようにする。ただし、常時モニターで監視するわけではなく、職員倫理課へ電話連絡があれば、モニターを見ながら状況を確認し、場合によっては駆けつけるという形で活用する。

(質問)

通話録音装置について、外部からの電話を取ることがないところに設置しても役に立たないと思うが、どこに設置しようと考えているのか。

(答弁)

参事級に 59 台、主幹級に 140 台のほか、各課・室

に少なくとも 1 台置くため 194 台を設置する。1、2 階の窓口には、複数台置いて録音しやすい状況をつくりたいと考えている。

(要望)

不当要求行為から職員をきちんと守れる体制づくりにしっかり取り組んでももらいたい。

(質問)

職員研修経費には自己啓発に関する経費が含まれているとのことであるが、自己啓発にはどのようなものがあるのか。

(答弁)

通信教育の受講募集や資格取得助成を行っている。通信教育については、簿記や話し方、プレゼンテーション等メニューを豊富に用意しており、職員が各自で受講科目を選択し、受講料の半額相当を助成している。

(質問)

何人ぐらいが利用しているのか。

(答弁)

例年、資格取得が 10 人未満、通信教育が 10 数人程度である。

(質問)

助成対象となるのは、業務に関係する内容に絞られるのか。それともスキルアップのため勉強したいと本人が希望すれば、業務に直接関係しなくても助成してもらえるのか。

(答弁)

資格取得助成の申請には所属長の承認が必要となっているなど、所属長が業務上有益と判断したものが対象となる。

(要望)

将来を見据えて習得したことは、必ず後の仕事に生きてくると思う。多くの職員がスキルアップできるような助成制度を整えてもらいたい。

(質問)

総務管理経費約 1,600 万円について、行政不服審査会委員 3 人の人件費のほかに、どのような経費が含まれているのか。

(答弁)

行政管理課文書仕分け室の委託料約 900 万円や文書管理センターの運営経費約 500 万円など、文書管

理に関する経費が入っている。

(質問)

防犯カメラについて、1、2 階と出先機関に設置するとのことであるが、他のフロアは録画しなくてもよいのか。

(答弁)

暴言や暴力行為が繰り返し起こる部署は、市民対応が多い1、2階に集中している。既に防犯カメラを設置している場所はあるものの、増設して機能の向上を図りたいと考えている。

また、警察への通報が多い支所や図書館等の出先機関にも、予算の許す限り配置したいと考えている。

さらに、防犯カメラの設置は、職員だけでなく、来庁者の安全安心の確保を図るためでもある。警察等とも協議したところ、1、2階が最もよいとの意見であった。

他のフロアへの導入については、今後、費用対効果等を見ながら検討していきたい。

(質問)

通話録音装置について、主に部長や課長のところに設置するという事は、録音の対象に議員を想定しているように思う。意図を説明してもらいたい。

(答弁)

主に議員を対象にするという考えはない。議員のみならず、市民からの問合せが多い部署に複数台を設置して、全てをカバーできるようにしようとしている。

(質問)

企業の相談窓口で電話すると、通話録音の事前アナウンスが流れてくる場合があるが、通話録音装置の導入後は、同じようになるのか。

(答弁)

通話録音装置は、有事の際にボタンを押すと最初から遡って録音できるものであり、かかってくる全ての通話を録音するものではない。既に設置している通話録音装置も全て同じタイプである。

自動録音という形も検討したが、現状、全ての番号に対応できないので導入は難しい。

(質問)

1 回線で全ての電話をとれるわけがなく、中途半端に感じる。録音できる電話ではなかったので、暴

言を吐かれたのに録音できなかったという事態が起きるのではないかと懸念するが、どのように考えているのか。

(答弁)

カスタマーハラスメント対策をしっかりと取らなければならないと考えている。

現在、通話録音装置がない部署では、不適切な電話がかかってくると、受話器にICレコーダーを近づけて録音しているが、うまく録れない場合もある。1つの職場に必ず1台あるようにすれば、一旦保留にして録音装置のある電話を使い、録音することが可能になると考えている。

(質問)

通話録音装置については、いつから導入する予定なのか。

(答弁)

速やかに入札を実施し、令和6年度上半期までに整備したいと考えている。

(質問)

電話については録音するが、窓口で市民対応するときは録音しないというのでは、対応に統一感が無いと思うがどうか。

(答弁)

窓口でトラブルが起きたときは、ICレコーダーで録音している。電話でも窓口でも必要に応じて録音するという考え方で対応している。

(要望)

録音については、きちんと理屈が立つような形で対応しなければ、職員を守れないと思う。録音する場合としない場合があるといったことがないように、統一した対応を取ってもらいたい。

(質問)

防犯カメラについては、マイク内蔵型のものを検討しているのか。

(答弁)

仕様等については検討しているところである。

(要望)

窓口では、言った言わないのトラブルがあると思う。市役所の1、2階だと市民の話し声や雑音等も入ってしまうと思うが、職員が録音できなかったときに職員を守るという意味で、音声も記録する方向

で考えてもらいたい。

(質問)

研修費に関して、コロナ禍を経てオンライン研修が増えたと思うが、令和6年度の派遣研修が100万円ほど増額している。現場に行く研修とオンライン研修とのバランスについて、どのように考えているのか。

(答弁)

コロナ禍の間にオンライン研修のメリットを確認できたので、積極的に活用したいと考えている。

基本的にはオンラインを優先するように各課へ依頼しているが、現地視察やグループワークがある研修もあるので、必要に応じて選んでもらいたいと考えている。

## 役職定年者挨拶

### 総務局終了

11時34分

【総務委員会（財政局）の審査】

## 財政局

13時22分

### 送付議案説明

- ・議案第1号 令和6年度姫路市一般会計予算
- ・議案第8号 令和6年度姫路市財政健全化調整特別会計予算
- ・議案第12号 令和5年度姫路市一般会計補正予算（第8回）

## 質疑

13時30分

(質問)

環境性能割交付金が前年度予算額から127.3%の伸び率となっているが、なぜこれほど増えているのか。

(答弁)

環境性能割交付金とは、令和元年10月からの自動車税制改正に伴い、旧の自動車取得税交付金に代わり市町に対して交付されるものである。

令和6年度予算が増となっているのは、前年度予算額の1億5,400万円が低すぎたためである。令和4年度の決算額が2億4,000万円で、令和5年度の決算額も同額程度を見込んでいる。これに国から示された地方財政計画の伸び率を勘案して3億5,000万円を予算計上している。

(質問)

本庁舎公用車駐車場電気自動車用電源設備設置工事設計委託については、充電スタンドを整備するためのものであると思うが、どこに何基ぐらい設置する予定なのか。

(答弁)

同設計委託は、直接的に充電設備を設置するためのものではない。現状において電気容量が不足しており、まずは容量変更に必要な工事の費用を計上するものである。

(質問)

旧日出車庫地歴調査、表層土壌調査について、どのような目的で調査を行うのか。

(答弁)

日出車庫の跡地をどのように利活用するとしても、必ず地歴調査等が必要になるため、実施するものである。

(質問)

旧モノレール橋桁撤去工事について、令和6年度はどの部分を撤去する予定なのか。

(答弁)

船場川沿いの橋桁を撤去する。長さは約50メートルを予定している。

(質問)

姫路駅西側のビルの中にある橋脚部分は撤去する方法がないと聞いたが、今後どのようにしようと考えているのか。

(答弁)

橋脚の周りに建物があるので、撤去については慎重に進めていく必要がある。いつ撤去できるかはいつらい状況ではあるが、適宜方法を研究しながら進めていきたいと考えている。

(質問)

建物の所有者との兼ね合いもあるので難しいと思う。

毎年予算を組んで少しずつ撤去を進めていると思うが、全体を撤去し終えるまで、あと何年ぐらいかかる見通しなのか。

(答弁)

撤去の進捗状況については、橋脚部分が76.5%、橋桁部分は令和6年度にかなり進捗して92.8%とな

る。

残っている橋脚が 20 本、橋桁が 130 メートルほどある。年に 2、3 本ずつ撤去していくが、工事費用が非常に高額になるため、予算を見ながら進めていこうと考えている。

ただし、非常に古いものであるため、安全面が心配になってくる。崩落の危険性等を定期的に確認しながら少しずつ進めていきたい。

(質問)

本庁舎整備事業費に本庁舎地下階改修工事設計委託が含まれているが、地下食堂の閉店後、食堂があったスペースをどのように活用しようと考えているのか。

(答弁)

総務局で検討しているが、新たに食堂を入れるのは採算が厳しく、非常に困難な状況である。その代わり、昼食を所望する職員には、売店で何種類かの弁当を販売して対応している。

今後については、基本的には執務室、場合によっては会議室をつくる方向で考えている。

(要望)

デッドスペースとならないよう有効活用してもらいたい。

## 役職定年者挨拶

### 財政局終了

13時48分

【総務委員会（政策局）の審査】

## 政策局

14時50分

### 送付議案説明

- ・議案第 1 号 令和 6 年度姫路市一般会計予算
- ・議案第 7 号 令和 6 年度姫路市奨学学術振興事業特別会計予算
- ・議案第 12 号 令和 5 年度姫路市一般会計補正予算（第 8 回）
- ・議案第 16 号 令和 5 年度姫路市奨学学術振興事業特別会計補正予算（第 1 回）

### 質疑

14時57分

(質問)

東京圏からの移住支援金の支給をはじめ、様々な移住支援制度を設けているが、支援金の使用目的が

決められていないなど、ただ姫路市へ来てほしいだけのように見える。政策局としてはどのように考えているのか。

(答弁)

姫路市には、都会の利便性と田舎暮らしを両立させたい人に訴求力があるのではないかと考えており、移住支援金は、姫路市から転出した人で、結婚や子育て等のタイミングで本市へ戻りたいと思っている人が、移住を検討する際の後押しにつながるものと考えている。

また、JR 姫路駅コンコース内の観光案内所に、移住に関するあらゆる相談ができる移住相談ワンストップ窓口を開設して、移住検討者をフォローアップするとともに、窓口での相談内容を蓄積していきたいと考えている。

まずは大阪圏、それから関東からの移住を呼び込むため、特に大阪圏については、これまで以上に力を入れて取り組みたいと考えている。

(要望)

移住支援については、姫路市に何が 필요한のかを分析して、全庁的に力を入れて、総合的に取り組んでもらいたい。

(質問)

新聞報道によると、令和 5 年度に先行実施した移住支援金の申請は 6 件にとどまったが、令和 6 年度予算では 40 世帯分を確保したとのことである。これをどのように理解すればよいのか。

(答弁)

郊外部移住者への移住支援金については、マイナンバーカードを所持していない世帯には 45 万円、所持する世帯にはさらに 5 万円を加算して 50 万円を交付する。

郊外部移住者への子育て支援金については、1 世帯当たりの子ども数を 1.5 人と想定し、40 世帯 60 人分で 6,000 万円と試算している。ただし、3 年間で分割して交付するとしているため、令和 6 年度予算は 2,000 万円である。

(質問)

40 世帯の移住が決まってるわけではないのか。

(答弁)

そうである。

(質問)

子育て支援金について、中学生以下の子どもがいる世帯に対し、1人当たり最大150万円を支援することであるが、どのようにして金額の差をつけるのか。子どもの人数や年齢で変わるのか。

(答弁)

子どもの年齢が小さいほど支援金の金額が大きい。ゼロ歳児を帯同して姫路市へ移住すると150万円となり、子どもの年齢が1歳上がるごとに10万円ずつ減っていき、15歳だと10万円になる。

2人以上の子どもがいる場合は、それぞれの子どもの年齢に応じた金額を合算したものとなる。

(質問)

郊外部移住者への新幹線通勤費用の助成について、郊外部への移住者の多くは就農希望者で、新幹線通勤をしてまで郊外部に移り住む人がいるのか疑問に思うが、どのように考えているのか。

(答弁)

例えば、大阪市中心部で仕事をして周辺地域に住んでいる人に対して、新幹線通勤の助成をすれば、通勤時間が大阪周辺に住むのとそれほど変わらず、地元へ戻る後押しになるのではないかと考えて創設したものである。

予算は960万円となっているが、郊外部への移住支援金及び子育て支援金それぞれ2,000万円を合わせた4,960万円を枠として、柔軟に対応していきたいと考えている。

(質問)

東京圏からの移住は、何世帯を見込んでいるのか。

(答弁)

東京圏からの移住支援金は、2人以上の世帯が100万円、単身世帯が60万円、子ども1人につき100万円を加算するとしており、子どものいる世帯が3件で600万円、子どもがいない世帯が1件で100万円、単身世帯が5件で300万円として予算計上している。

(質問)

自動録音電話機等購入助成事業3,750万円について、自動録音電話機は1万円、外付録音機は5,000円を補助上限額とするということは、かなりの需要を見込んでいると思う。携帯電話を持つ高齢者が相当数いる中、どのように積算したのか。

(答弁)

県事業を姫路市が代行的に行うものであり、先行実施している神戸市や、明石市の令和6年度補助予定件数を参考に、人口比から出したものである。

(質問)

何件を想定しているのか。

(答弁)

神戸市の1万件、明石市の2,000件を基に、人口比から、姫路市では3,600件と想定している。

自動録音電話機と外付録音機の比率がどのようになるのか予想できないが、両市とも自動録音電話機のほうが申請が多いため、自動録音電話機の補助額を基準として予算額を確保することから、本市でも自動録音電話機を基準として、補助額3,600万円を算出している。

それに事務経費150万円を加えたものが予算額の3,750万円である。

(要望)

他市の状況から積算するのではなく、姫路市として何件ぐらい必要だからこれだけの予算が必要であると説明できるようにすべきだと思う。もう少し丁寧に予算額を出してもらいたい。

(質問)

帰宅困難者対策計画策定業務300万円については、コンサル業者に委託するための費用であると思うが、300万円の根拠を説明してもらいたい。

(答弁)

姫路駅の乗降客数に姫路城の観光客数を含めた帰宅困難者数の算定や、帰宅困難者対策計画の策定に関して、業者から見積りを取った金額を予算計上している。

(質問)

姫路市防災情報システム再整備事業4億7,850万円について、令和7年4月からの運用開始を目指して令和4年度から進めているところであるが、進捗状況を説明してもらいたい。

(答弁)

防災情報システム再整備事業は、システムの安定稼働を継続させるとともに、昨今の情報通信技術の進展による機能強化を図ることを目的に、システムの再整備を行っているところである。既に基本設計、

設計施工業者の選定を終えて、現在、実施設計を取りまとめ中であり、令和 6 年度に機器製造、整備、試験運用を行っていく。

契約期間は令和 5 年 10 月 16 日から令和 7 年 3 月 31 日まで、契約金額は 4 億 7,850 万円であり、令和 5 年度に令和 6 年度までの期限で限度額 5 億 330 万円の債務負担行為の承認を得ている。契約方法は公募型プロポーザル方式による随意契約で、相手方は日本電気株式会社である。

財源として、充当率 100%、交付税算入率 70%の緊急防災・減災事業債を活用する予定である。

防災情報システムは災害対応の中核機能を担うシステムであるため、スケジュール管理を徹底して、引き続き、事業の遅れがないように対応していきたいと考えている。

(質問)

東京圏や郊外部移住者への移住支援金等の財源について、国と市の負担割合はどれぐらいなのか。

(答弁)

東京圏からの移住支援金に関しては、国が 2 分の 1、県が 4 分の 1、市が 4 分の 1 であるが、その他は市単独事業である。

(質問)

新幹線通勤費用の助成については、助成期間を定めていないのか。

(答弁)

2 年間である。少しでも移住への流れにつながればよいと考えている。

#### 退職者及び役職定年者挨拶

政策局終了 15時25分

【総務委員会（監査事務局）の審査】

監査事務局 15時54分

#### 送付議案説明

・議案第 1 号 令和 6 年度姫路市一般会計予算

質疑 15時56分

質問なし

監査事務局終了 15時56分

公平委員会事務局 15時57分

#### 送付議案説明

・議案第 1 号 令和 6 年度姫路市一般会計予算

質疑 15時58分

質問なし

公平委員会事務局終了 15時58分

散会 15時58分

【総務委員会（公平委員会事務局）の審査】